

南会津町の湿原を守る会だより

22年度活動は！

南会津町の湿原を守る会では昨年度より 福島大学共生システム理工学類の学生及び先生と共同で駒止湿原の昆虫や生き物の生息調査を行ってきました。

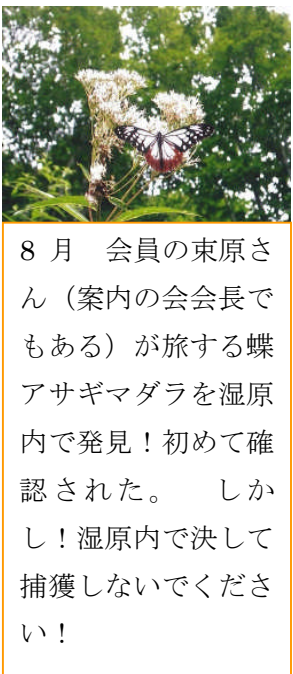
作業は二十一年秋から始まりました。(財)国土緑化推進機構平成二十一年度「緑と水の森林基金」助成公募事業に採択。

駒止湿原保護協議会並びに南会津町教育委員会・昭和村教育委員会へ天然記念物駒止湿原昆虫・動物生息調査(分布・分類・生態)実施許可申請書が提出され、多くの関係機関の協力で行われました。

今まで 湿原の植物については観察が行われ 図鑑やパンフレットも発行されていましたが、昆虫や生き物についての調査は行われず資料もありませんでした。今回 共同で行われた調査では貴重なデータが得られました。

取材をして発見したのは、湿原の中の昆虫などの生き物のほか 周囲の林の中の土中の虫「カニ虫」の存在です。土を分解する虫・カニ虫を見つけたときは 調査を行っていた学生と共に「動いている！」感激しました。八月には中間報告会を開催し 多くの方に報告できました。大学 学生のほか会員である平野健一が研究を続けてきたクモについての発表がありました。同時に子供のころから針生で蝶の収集をし、標本を作製した湯田賢史さんの発表も行われ 地元にもきちんと収集・観察をしていた昆虫少年がいたんだ！と感激し、その観察のすばらしさに驚きました。

そして、平成二十三年三月、貴重な報告書が完成！ 会ではこの調査のほか 教育委員会と共に 駒止湿原周囲のブナ植栽地内の下草刈 外来種の駆除 駐車場において踏み込み等を防止する啓発活動を行っています。また駐車場に木製のドームテントを設置し監視員や入山者の緊急待避所として大変役に立ちました。



↑秋に匠の家近くで行われた林業祭でのチェーンソーアート！
5月ドームテントで休む入山者。テントは南山匠の会の協力で設置→



生き物生息調査中間報告

第5号 平成23年3月31日(2011年)発行
事務局 阿部
0241-62-1248



8月17日 御蔵入 生き物生息調査中間報告 約80人が訪れた。
塘准教授・湿原の昆虫相 大学生・カニ虫相
平野健一・クモ相 湯田賢史・針生の蝶



外来種駆除と草刈

テントのほか、いつもぬかるんでいる農道への板の設置も協力。



カニ虫発見！

湿原周囲の林での調査。土をすくって網でふるって～カニ虫を発見！取材する私も感激～！

子ども達と学習



荒海小学校3,4年生 田島小学校5年生

子供たちと湿原で学習 入山前に守る会が事前学習で講師。案内は駒止湿原案内の会さん。教育委員会では昨年度から講習会を実施。案内の会員が講師となり新しい意案内人が10人以上誕生しました。

東北電力田島営業所さん
5月散策



7月31日 NPO法人樹木育成研究会 環境学習会協力。樹木の太さからの酸素の量を測る。

7月30日 日光戦場ヶ原へ散策&研修。林の中は都笹が一面に。ピンクの植物は「穂先下野・ホサキシモツケ」



自然の中に入ることは自分の生活もリフレッシュ。とても有意義でした。
数年ぶりに晴れた～ 田代山山頂 2010年6月13日→
3月11日の震災による原発事故。今後、環境にも影響が出ているか調査し、きちんとしたデータを得ることも必要になります。



子供たちに大人気！→
マルバモウセンゴケ、虫を捕らえた
←10月末の駒止峠

